



# Flash News

三重大学

第59号

目次 お知らせ&ご報告

- 文部科学省の平成20年度「女性研究者支援モデル育成」に採択
- 文部科学省の平成20年度「都市エリア産学官連携促進事業(発展型)」に採択
- 医学部看護学科10周年記念式典
- 大学別認証評価
- 三重大学国際交流特別奨学生制度
- 「放置自転車」を再利用
- 「新自由主義改革と日本経済」を考えるシンポジウム
- コラボ産学官三重支部「認証式」
- 三重大学平成20年度「第1回地域貢献活動支援」
- 「古紙再生利用化プロジェクト」成果報告会
- 「インターンシップ説明会および事前研修会」
- 国際交流センターから

## 文部科学省の平成20年度「女性研究者支援モデル育成」に採択



文部科学省が公募した標記事業に、本学の「パールの輝きで、理系女性が三重を元気に」が採択されました。このプログラムは、本学の医学系研究科、工学研究科、生物資源学研究科の女性研究者の増加と研究継続の支援を目指すとともに、三重県下の理系女性研究者を擁する6つの機関との緊密な連携の下に、理系進学を希望する女子高校生を増加させ、女性研究者が活躍できる環境を整えていこうとするものです。学内では、女子学生・女性教員共に少ない工学研究科の現状改善をはじめ、男女共同参画推進に配慮し、連携6機関とのムードルによる交流に加え、県の男女共同参画センター「フレンテみえ」との協同によって、県内全域に新たな機運を醸成しつつ、進めていきます。

## 文部科学省の平成20年度「都市エリア産学官連携促進事業(発展型)」に採択

文部科学省が公募した標記事業に、本学の「新世代全固体ポリマーリチウム二次電池の開発と高度部材イノベーションへの展開」が採択されました。これは、平成16年度～18年度に標記事業の一般型として行った研究から生まれた「燃えない安全な新世代の全固体ポリマーリチウム二次電池」の実用化を目指します。平成20年度～22年度までの3年間、フレキシブルで薄い、全く新しい電池の研究開発を進めていきます。20年度より発足予定の「三重大学次世代型電池開発センター」を研究開発のプラットフォームとし、さらに四日市の「高度部材イノベーションセンター」で、より実用に近い形のプロトタイプを製作するとともに三重県や企業と連携して、研究開発を行います。



## 医学部看護学科10周年記念式典



5月2日、標記式典を講堂で、祝賀会をホテルグリーンパーク津で開催しました。看護学科は、昭和23年開校の「三重県立医科大学附属医院厚生女学部」に始まり、医学部附属看護学校、短期大学部等を経て、現在の医学部看護学科となりました。式典では、豊田長康学長、駒田美弘医学系研究科長、山口直美三重県看護協会会長の挨拶に続いて、武村泰男元三重大学学長による記念講演「看取るということ」が行われました。なお、1998年に医学部看護学科1期生が入学して以来、616人が巣立っています。

## 大学別認証評価

本学では、学校教育法で定める認証評価について、平成16年6月の評価委員会で、平成19年度に大学評価・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審することが決定されました。その後、各評価項目に関する資料やデータ収集などの準備が進められ、平成19年6月には同機構へ自己評価書を提出し、11月には2日間にわたる本学での訪問調査が実施されました。これらの調査を踏まえ、本年3月末に、「機構が定める認証評価基準を満たしている」との評価結果を受けるとともに、同機構の認証評価基準を満たした大学の証として「認定証」を受領しました。

**三重大学国際交流特別奨学生制度**

本年4月から、標記特別奨学生制度が開始されました。これは、「海外の大学に6ヶ月以上留学する本学の学生」、「全学的な国際交流事業（国際インターンシップ・3大学ジョイントセミナー&シンポジウム等）に参加する本学学生」、「交換留学生制度の下で海外の協定校から本学に6ヶ月以上留学する留学生」を対象に、計75名に対して奨学金を給付し、本学の国際交流事業を推進することを目的としています。詳しくは、<http://www.cie.mie-u.ac.jp/>をご覧ください。

**「放置自転車」を再利用**

4月23日、環境ISO学生委員会の学生たちが学内に放置された約400台の自転車を4ヶ月かけて整理し、再利用できる42台を新入生に譲る抽選会を行いました。この抽選会には、約100名の新入生が参加し、くじ引きで譲り渡しを決めました。今回新入生に譲った以外の自転車については、学内で誰でも乗ることの出来る循環自転車として活用するなど、放置自転車の再利用を定着させるための計画を進めています。



**「新自由主義改革と日本経済」を考えるシンポジウム**

4月27日、人文学部において、標記シンポジウムが「いま、改革の是非を問う！ー“市場原理主義”から脱却せよー」とのテーマで開催されました。これは、本学教員が執筆した著書を多数出版している三重大学出版会から出版された「新自由主義改革と日本経済」（櫻谷勝美教授、野崎哲哉教授編・人文学部）の出版記念でもあり、120名の参加者の中、約3時間にわたり熱い討論が繰り広げられました。

**コラボ産学官三重支部「認証式」**

5月19日、標記認証式が四日市都ホテルで開かれました。コラボ産学官本部より、北伊勢上野信用金庫内に設立される三重支部に対して、認証書が授与され、続いて、来賓として招かれた豊田学長より「中小企業の活性化に信金のネットワークは重要であり、三重大学もこの連携に貢献したい。」との挨拶がありました。今後、本学は、コラボ産学官三重支部の会員企業、他の高等教育機関や三重県などの協力機関と連携し、三重県の産業の活性化を図っていくこととなります。（コラボ産学官については、フラッシュニュース第32号参照下さい。）

**三重大学平成20年度「第1回地域貢献活動支援」**

5月20日、学内で公募した標記支援制度の採択テーマが発表されました（右表）。これは、本学の地域貢献事業の創造と促進を図るため、本学の教職員が代表者として実施する教育・研究に基づく自主的な地域貢献活動への助成支援を目的としたものです。本学では、今回の助成テーマ以外にも地域連携活動が活発に行われており、それらの活動と合わせて、大学の地域貢献が充実したものになることが期待されています。次回は、秋に公募を予定しています。

学部・氏名	活動テーマ
人文学部 塚本 明	龍野市大治町善根宿に伝わる江戸時代の「納札」の調査と活用
人文学部 朴 惠淑	町屋海岸を軸とした三重大学の社会的責任(USR) ~町屋海岸モデルの確立及び運用~
教育学部 荒尾 浩子	小学校における国際交流活動
教育学部 松岡 守	Jrロボコンin三重
医学部附属病院 永澤 直樹	乳がんマンモグラフィ検診受診率の向上と検診結果共有ネットワーク普及のための活動
工学部 前田 大佳夫	風力発電を題材とした小中高校生のための環境体験学習
生物資源学部 成岡 市	三重県農村災害ボランティア(農村災害お助け隊員)(仮称)
生物資源学部 江原 宏	植物保護・利活用を基盤とする東紀州再生プロジェクト
図書館 菅原 洋一	「三重大学文化フォーラム」の実施運営

**「古紙再生利用化プロジェクト」成果報告会**

5月15日、環境ISO学生委員会と財務部が協同で進めている標記プロジェクトの成果報告会が行われました。本プロジェクトは、昨年7月に環境ISO学生委員会の提案に対し財務部が連携し、検討会を重ね、トイレトペーパーの包装紙および古紙回収用ボックスのデザインを環境ISO学生委員会が担当し、古紙回収用ボックスを、学内3ヶ所に設置しました。報告会では、財務部長からは本プロジェクトの経過報告が行われ、デザインを担当した学生から回収古紙を再利用した「まもる」マーク入りのトイレトペーパーが学長に手渡されました。



**「インターンシップ説明会および事前研修会」**

5月17日、キャリア支援センターでは、全学のインターンシップ参加希望学生を対象とした標記説明会および研修会が開催されました。野村教育担当理事の挨拶の後、石坂キャリア支援センター長からインターンシップの全学共通事項の説明、次いで、キャリア・カウンセラー白取義之氏を講師に、インターンシップの目標設定およびビジネスマナー等の指導が行われました。その後、各学部等に分かれ、キャリア支援センター教員らによるインターンシップ実施要領の説明が行われました。300名を超える学生が参加し、インターンシップに向けてしっかりとした準備を整えるため熱心に聴講していました。



**お知らせ & ご報告**

**国際交流センターから**

《「第2回三重大学国際交流週間2008」》

1. 開催日：7月1日～5日
2. 参加者：三重大学教職員・学生および県内在住者
3. 費用：無料
4. 開催場所と内容：総合研究棟 1Fメディアホール(日英スピーチコンテスト、映画上映会、スポーツ大会等)

《学長訪問》

- ◎ウェイン州立大学医学部(アメリカ)…学部間協定
1. 日時：平成20年4月2日(水)13:15~14:00
  2. 訪問者：医学部学生 3名
  3. 同席者：駒田医学系研究科長、堀医学系研究科准教授

《学長訪問》

- ◎河南師範大学(中国)…学部間協定
1. 日時：平成20年4月21日(月)10:00~10:30
  2. 訪問者：徐存拴(XU CUNSHUAN) 副学長 他3名
  3. 同席者：松岡教育学部学部長補佐、王生物資源学系研究科教授

**投稿のお願い**

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュースの提供をお待ちしています。小林英雄(kobayashi@mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページ(<http://www.mie-u.ac.jp>)をご覧ください。》編集責任者/理事・事務局長 三浦春政

